

見本

推 薦 書

令和 年 月 日

産業医科大学長 殿

推薦者（所属） _____

（職名） _____

（氏名） _____（自署）

〇〇〇〇君（氏、先生）は、……………

クリップで
綴じること。
ホッチキスは
不可。

見 本

教 員 個 人 調 書

- (1) 履歴書
- (2) 教育研究業績書

氏 名 産 業 花 子

注) 上記のとおり、教員個人調書の表紙を必ず作成のこと。

①表紙、②履歴書、③教育研究業績書を作成のうえ、左上端をクリップで綴じること。
ホッチキスは不可。

履歴書の記載要領

別紙の記載例に従って、MS ワードを使って作成してください（氏名の自署部分を除く）。
用紙の規格は、次のとおりとします。

A 4 版 用 紙	上余白	3 0 mm程度	フォントサイズは、1 0 . 5 ポイント
	下余白	1 0 mm程度	
	左余白	2 5 mm程度	
	右余白	2 5 mm程度	

記載にあたっての注意事項は次のとおりです。

① 氏名等について

- ・住民票記載事項証明書、在留カードのとおり氏名を記載し、ふりがなを記載すること。
- ・性別の記載については任意とする。
- ・記入時現在における年齢を記載する。
- ・電話番号は日中連絡がとれるものも記入のこと。
- ・E-mail アドレスは文書添付が可能なものを記入のこと。（携帯電話の E-mail アドレスは不可）

② 学歴について

- ・高等学校入学から記載する。
- ・大学は、学部名、学科名を記載する。
- ・大学院は、研究科名、専攻名、課程名を記載する。
- ・研究生等の研究歴を記載する。

③ 免許・資格について（免許証の写しを添付する。）

- ・関連する専門分野に関する資格（認定番号）についても記載する。

④ 学位について（学位記の写しを添付する。）

- ・修士以上の学位について、記載する。
- ・授与された大学名、授与年月日及び学位記番号を記載する。

⑤ 職歴について

- ・海外留学（外国の大学等で研究に従事）は、職歴欄に記載する。
なお、外国の大学院等に在学し、博士等の学位を取得した場合は、学歴欄に記載する。

履 歴 書

ふりがな さん ぎょう はな こ
氏 名 産 業 花 子
生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日（〇〇歳）女（性別記載については任意）
現 住 所 〒 8 0 7 - 8 5 5 5 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1 - 1
 TEL：0 9 3（6 0 3）1 6 1 1
 携 帯：0 8 0 - 1 2 3 4 - 5 6 7 8
 E-mail：〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇

写真添付
縦 4cm
横 3cm

学 歴

昭和〇〇年	〇月	〇〇県〇〇〇〇高等学校入学
平成〇〇年	〇月	同上卒業
平成〇〇年	〇月	〇〇医科大学〇〇短期大学部看護学科入学
平成〇〇年	〇月	同上卒業
平成〇〇年	〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
平成〇〇年	〇月	同上卒業
平成〇〇年	〇月	〇〇大学大学院医学研究科〇〇学専攻修士課程入学
平成〇〇年	〇月	同上修了
平成〇〇年	〇月	〇〇大学大学院医学研究科〇〇学専攻博士課程入学
平成〇〇年	〇月	同上修了

免許・資格

平成〇〇年〇〇月	第〇回看護師国家試験合格	看護師免許（看護師籍登録第〇〇〇〇号）
平成〇〇年〇〇月	第〇回保健師国家試験合格	保健師免許（保健師籍登録第〇〇〇〇号）
平成〇〇年〇〇月	〇〇教諭免許（第〇〇〇号）	

学 位

平成〇〇年〇〇月	修士（〇〇学）の学位授与（〇〇大学 第〇〇号）
平成〇〇年〇〇月	博士（〇〇学）の学位授与（〇〇大学 甲第〇〇号）

職 歴

平成〇〇年〇〇月	〇〇大学病院（〇〇科）看護師に採用
平成〇〇年〇〇月	同上辞職
平成〇〇年〇〇月	〇〇市衛生局〇〇保健所保健師に採用
平成〇〇年〇〇月	同上辞職
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇〇学部〇〇学科 助手に採用
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇〇学部非常勤講師（担当：〇〇学）平成〇〇年〇〇月まで
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇〇学部〇〇学科 助手 辞職
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇〇学部〇〇学科 講師に採用
	現在に至る

所属学会

平成〇〇年〇〇月	日本〇〇学会
----------	--------

社会における活動等

平成〇〇年〇〇月	日本〇〇学会
平成〇〇年〇〇月	日本〇〇学会雑誌編集委員会委員
平成〇〇年〇〇月	厚生労働省〇〇審議会委員（～平成〇〇年〇〇月）

賞 罰

なし

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏 名 _____（自署）

教育研究業績書の記載要領

別紙の記載例に従って、MS ワードを使って作成してください（氏名の自署部分を除く）。
用紙の規格は、次のとおりとします。

A 4 版 用 紙	上余白	3 0 mm程度	フォントサイズは、1 0 . 5 ポイント
	下余白	1 0 mm程度	
	左余白	2 5 mm程度	
	右余白	2 5 mm程度	

記載にあたっての注意事項は次のとおりです。

- ① 表紙として「教育研究業績書内訳」を作成すること。
- ② 以下の区分で、別葉として発表年順に記載し、それぞれ一連番号を付すこと。
学位論文には◎印を、自薦の主要論文（10 編）には○印を付し、その両者については雑誌等の次の行から論文要旨（日本語で 200 字程度）および自身の果たした役割（例：研究総括・計画・解析・実験実施・論文作成）を記載すること。
また、印刷中の論文については、その旨を記載し、掲載受理証明書（写）を添付すること。
- ③ 教育研究業績書は、次の項目について、それぞれ別紙を用いて記載のこと。

I 著 書

II 総 説（欧文は 2023 年 6 月発表の 2022 年版 Journal Citation Reports の Impact Factor を各論文の最後に記載してください）

III 原 著（欧文は 2023 年 6 月発表の 2022 年版 Journal Citation Reports の Impact Factor を各論文の最後に記載してください）

IV 報告・その他（欧文は 2023 年 6 月発表の 2022 年版 Journal Citation Reports の Impact Factor を各論文の最後に記載してください）

V 学会発表（特別講演、シンポジウム等国内、国際学会発表の内、主要なもの）

VI 学術研究費の交付、特許取得等（研究課題、年度、交付機関名及び代表・分担の区別）

VII 研究業績一覧表

※1 学会発表等の抄録は印刷されていても論文には認めません。

ただし、国際学会等で full text が proceeding または単行本として印刷されたときは、著書または総説・原著の項にも改めて含めること。

※2 著書名（全員）、論文タイトル、雑誌名等は、それぞれ改行してください。

また、本人名の下にはアンダーラインを引いてください。

※3 外国雑誌の略名は、List of Serials Indexed for Online Users

(National Institutes of Health, National Library of Medicine)に準じてください。

※4 II・IIIについては査読の有無を付記してください。

教育研究業績書 内訳

令和 年 月 日

氏 名 _____ (自署)

- I 著 書

〇〇編 (欧文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
(和文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
- II 総 説

〇〇編 (欧文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
(和文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
- III 原 著

〇〇編 (欧文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
(和文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
- IV 報告・その他

〇〇編 (欧文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
(和文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
- V 学会発表

〇〇編 (国際学会 〇〇編、筆頭者〇〇編)
(国内学会 〇〇編、筆頭者〇〇編)
- VI 学術研究費の交付、特許取得等

〇〇件
- VII 研究業績一覧表

教育研究業績書

I 著 書 (欧 文)

氏 名 産 業 花 子

- 1 Sangyo H :
Clinical nursing practice.
Community health nursing, Hundsfield H ed, Oxford Press : pp99-102, 2005

2

3

4

教育研究業績書

I 著 書 (和 文)

氏 名 産 業 花 子

1 浅川 二郎, 産業 花子:
糖尿病患者のケア.
看護学体系, 山川満監修, 看護社 : 21-28 頁, 1998

2

3

4

教育研究業績書

Ⅱ 総 説 (欧 文)

氏 名 産 業 花 子

(著者名が、論文著者欄で確認でき、かつ MEDLINE で検索されるものに限る)

○ 1 Sangyo H :
Life cycle indices and issues on care for the elderly.
Journal of Population Studies 14(5): 10-17, 2004 (IF:) (査読あり)

2

3

4

教育研究業績書

Ⅱ 総 説（和 文）

氏 名 産 業 花 子

1 産業 花子：
認知症患者の音楽療法.
臨床看護 16（4）：46-53, 2001（査読あり）

2

3

4

教育研究業績書

Ⅲ 原 著 (欧 文)

氏 名 産 業 花 子

(著者名が、論文著者欄で確認でき、かつ MEDLINE で検索されるものに限る)

- 1 Sangyo H, Asakawa J:
Effects of web-based training on psychological distress: A randomized
Controlled trial.
Preventive Medicine 21(5):296-301, 2005 (IF:) (査読あり)

2

◎ 3

4

教育研究業績書

Ⅲ 原 著（和 文）

氏 名 産 業 花 子

1 産業 花子：
労働者における主観的健康感とレジリエンスの関連.
産業ストレス研究 14（8）： 96-105, 2010（査読あり）

2

◎ 3

4

教育研究業績書

IV 報告・その他（欧 文）

氏 名 産 業 花 子

（著者名が、論文著者欄で確認でき、かつ MEDLINE で検索されるものに限る）

1

2

3

4

教育研究業績書

IV 報告・その他（和 文）

氏 名 産 業 花 子

1

2

3

4

教育研究業績書

V 学会発表（国際学会）

氏 名 産 業 花 子

1 Sangyo H, Asakawa J:
Weekly and seasonal variation in frequencies of occurrence of sudden deaths among
Japanese workers.
The 10th International Conference on Occupational Health, Seattle, USA, 2010

2

3

4

教育研究業績書

V 学会発表（国内学会）

氏 名 産 業 花 子

-
- 1 産業 花子：
地域の精神保健向上にむけた集団認知行動療法の効果.
第 20 回 日本ストレス学会学術総会，北九州，2010

2

3

4

教育研究業績書

VI 学術研究費の交付、特許取得など

氏 名 産 業 花 子

-
- 1 科学研究費補助金 ○○研究 課題番号○○○○○○○○
○○年度～○○年度
研究課題：○○○○○○○○について（研究代表者・分担者）
- 2
- 3
- 4
- 5

教育研究業績書

VII 研究業績一覧表

氏 名 産 業 花 子

全ての業績

総説	Impact Factor 総得点	〇〇点
	筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
	第2著者 Impact Factor	〇〇点
	Corresponding author Impact Factor	〇〇点
原著	Impact Factor 総得点	〇〇点
	筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
	第2著者 Impact Factor	〇〇点
	Corresponding author Impact Factor	〇〇点
報告・その他	Impact Factor 総得点	〇〇点
	筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
	第2著者 Impact Factor	〇〇点
	Corresponding author Impact Factor	〇〇点

最近の約5年間（2019年1月以降 直近まで）

総説	Impact Factor 総得点	〇〇点
	筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
	第2著者 Impact Factor	〇〇点
	Corresponding author Impact Factor	〇〇点
原著	Impact Factor 総得点	〇〇点
	筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
	第2著者 Impact Factor	〇〇点
	Corresponding author Impact Factor	〇〇点
報告・その他	Impact Factor 総得点	〇〇点
	筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
	第2著者 Impact Factor	〇〇点
	Corresponding author Impact Factor	〇〇点